

大阪府立呼吸器・アレルギー医療センターだより

〒583-8588 羽曳野市はびきの3-7-1 TEL:072-957-2121(代)

喫煙により何がおこる??

大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 院長：楠 洋子

5月31日の世界禁煙デーからの1週間は「禁煙週間」です。世界各地でいるんなイベントが開かれます。

タバコは、喉頭がんや肺がんなど呼吸器系のがんとの関係についてはよく知られていますが、消化器がん、婦人科がんなどあらゆる臓器のがん発生にも強い影響を及ぼします。

社会問題になっていますアスベストが原因の悪性中皮腫や肺がんでも、タバコを吸っている人は吸わない人に比べ約50倍の罹患率が示されています。

がん以外にも肺気腫（徐々に肺に穴が開いていき、呼吸困難を起こす怖い病気）の原因にもなります。肺気腫は2020年ごろには世界の死亡原因の第3位に躍り出ると予測されています。タバコをやめる以外にこの病気を予防する手だてではないのです。

また脳梗塞や心臓血管系の病気には言わずもがなです。血管系への影響は胎児にも負担をかけ、異常分娩の原因になります。

この日を機会に改めて禁煙について考えてみましょう。大切な人々への思いやりも込めて・・・。



禁煙外来について

副看護部長（地域医療連携室）：西川百合子

禁煙したいけどどうしてもやめられない、禁煙に挑戦してもいつも途中で挫折…しかし、意思が弱いと悲観することはありません。喫煙は治療が必要な病気です。病気は禁煙外来で治療しましょう。

当センターの禁煙外来は、第2・第4火曜日と第2～第5金曜日の2時から4時に実施しています。地域医療連携室で予約をお取りします。電話でご予約ください。あなたに合った禁煙治療を考えていきます。

また当センターでは肺年齢の測定ができます。実年齢との差を自覚することで禁煙に対するモチベーションが強くなります。また見た目では判らない肺の健康状態を知るヒントとなります。※当センターは敷地内禁煙だけではなく、タバコ持ち込み禁止となっています。このことをタバコフリーホスピタルと言います。禁煙に関しては最先端の取り組みを行っています。禁煙を考えておられる方は当センターの地域医療連携室にご相談ください。

《問い合わせ》

大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 地域医療連携室



6月1日～7日は水道週間です

「おいしいね この水未来に いつまでも」

6月1日から7日までは「水道週間」です。水道週間とは水道について国民の理解と関心を高め、公衆衛生の向上と生活環境の改善を図り、水道の健全な発展に役立つよう啓蒙するとともに、限りある水資源の有効利用をアピールするために、厚生労働省が昭和34年に設けたものです。

今年の水道週間のスローガンは「おいしいね この水未来に いつまでも」です。水道局では市民の皆様へ、水道に対する理解と関心を更に深めていただくための広報活動等を重点的に実施します。

この機会を通して、市民の皆さん一人ひとりに水質保全や水の大切さを正しく理解していただくとともに、将来に向かって、大切な資源である「水のちの水、」について考えていただくのはどうでしょうか。

めっちゃ おいしいやん! おおさかの水

(大阪府市町村共通デザイン標語)

水道局 電話 958 - 1111 fax 958-0494

URL <http://www.city.habikino.osaka.jp/info/057/index.html>



平成21年度・新規採用職員紹介



初心を忘れず、丁寧な対応を心掛けたいと思います
子育て支援課
葉山 朋枝



挨拶と笑顔が一番にし、市民の皆様が安心して生活をして頂けるよう、仕事に取り組んでいきたいです。
子育て支援課
櫻井 勝



市民の皆様へ満足いただけるサービスを提供できるよう笑顔でがんばりたいと思います。
定額給付金等事業推進チーム
小田 未希子



一期一会を大切に、頑張りたいと思っています。よろしくお願ひします
定額給付金等事業推進チーム
矢熊 恵美子